

平成27年度行政評価 外部評価実施報告書

平成27年12月
稲沢市市長公室企画政策課

I 外部評価の概要

1 実施目的

行政内部の自己評価に加え、第三者による評価・検証の機会を確保することにより、**評価の客観性の向上**及び**透明性の確保**を図り、事業のあり方の検証を含めた**行政運営の効率化、事業の見える化**及び**職員の意識改革**を目的として、外部評価を実施します。

2 基本方針

- (1) 行政改革推進委員会は、市が実施した内部評価（前年度の事務事業の事後評価）の結果について、外部の視点から評価・検証し、事務事業の改善、評価指標のあり方、今後の方向性等に関する提言を行います。
- (2) 外部評価の結果を踏まえて、市（事業担当課）は当該事業に対する今後の方針を検討し、予算編成や各種計画等への反映に努めます。また、いただいた意見等については、今後の事務事業の遂行にあたって活用していくものとします。

II 外部評価の実施概要

1 実施日時

- (1) 平成27年9月29日（火）午後1時30分から午後4時47分まで
- (2) 平成27年9月30日（水）午後1時30分から午後4時43分まで

2 会場

- (1) 市役所（3階） 議員総会室
- (2) 市役所（2階） 政策審議室

3 評価対象事業

事務事業評価の対象10事業（次ページ参照）の中から、行政改革推進委員会委員の意向を踏まえ、次の6事業を選定しました。

【選定結果】

- (1) ファミリーサポート事業（福祉保健部こども課）
- (2) 環境基本計画推進事業（経済環境部環境保全課）
- (3) ごみ減量啓発事業（経済環境部資源対策課）
- (4) 農業振興対策事業（経済環境部農務課）
- (5) 観光協会支援事業（経済環境部商工観光課）
- (6) 稲沢市国際友好協会補助事業（市長公室秘書広報課）

平成 27 年度事務事業評価 対象事業一覧表

分野	関連施策	事務事業名	担当部課
福祉・健康 (安心して元気に暮らせるまち)	健康	特定健康診査事業	福祉保健部 国保年金課
	子育て支援	ファミリーサポート事業	福祉保健部 こども課
生活・環境 (環境にやさしく安全なまち)	環境保全	環境基本計画推進事業	経済環境部 環境保全課
	資源循環	ごみ減量啓発事業	経済環境部 資源対策課
都市基盤・産業 (活力ある未来をひらくまち)	農業	農業振興対策事業	経済環境部 農務課
	観光	観光協会支援事業	経済環境部 商工観光課
教育・文化 (郷土を愛し豊かな心を育むまち)	学校教育	いじめ・不登校対策事業	教育委員会事務局 学校教育課
	青少年健全育成	家庭教育啓発事業	教育委員会事務局 生涯学習課
	生涯学習	図書館運営事業	教育委員会 図書館
	国際化	稲沢市国際友好協会補助事業	市長公室 秘書広報課

4 実施内容

(1) 外部評価の進め方

区分	内容	時間 (分)
①事業担当課による 事務事業の説明	事業担当課が事務事業評価シート等に基づき、事務事業の概要、課題、実施状況、自らが行った評価（内部評価）の結果について説明します。	10
②質疑応答・議論	評価員が必要に応じて事業担当課に補足説明を求め、評価する上で必要と思われる事柄について質問します。また、これらを踏まえて評価員同士で議論します。	25
③各評価員自己判定	各評価員が「外部評価結果記入シート」に評価結果（個別評価【妥当性・有効性・効率性】及び総合評価【A～D】）とその理由、改善すべき点等を記入します。	5
④最終評価・講評	各評価員一斉に評価結果（A～D）の札を上げ、その結果、最多となった評価結果を委員会の最終評価とします。また、評価員全員から評価結果の理由について、簡潔にコメントしてもらいます。	5

(2) 実施スケジュール

① 平成27年9月29日（火）

次第	時刻		時間 (分)
	開始	終了	
開始式（あいさつ、会議の進め方、資料の確認など）	13：30	13：50	20
外部評価① 環境基本計画推進事業（経済環境部環境保全課）	13：50	14：35	45
休憩	14：35	14：45	10
外部評価② ごみ減量啓発事業（経済環境部資源対策課）	14：45	15：30	45
休憩	15：30	15：40	10
外部評価③ 観光協会支援事業（経済環境部商工観光課）	15：40	16：25	45
終了式（あいさつなど）	16：25	16：40	15

②平成27年 9月30日（水）

次第	時刻		時間 (分)
	開始	終了	
開始式（あいさつ、会議の進め方、資料の確認など）	13：30	13：50	20
外部評価① ファミリーサポート事業（福祉保健部こども課）	13：50	14：35	45
休憩	14：35	14：45	10
外部評価② 農業振興対策事業（経済環境部農務課）	14：45	15：30	45
休憩	15：30	15：40	10
外部評価③ 稲沢市国際友好協会補助事業（市長公室秘書広報課）	15：40	16：25	45
終了式（あいさつなど）	16：25	16：40	15

(3) 評価体制

行政改革推進委員会委員を2班体制に編成し、対象事業別（1班当たり3事業）に外部評価を実施しました。

① 平成27年 9月29日（火）評価員

氏名	組織等	備考
くりばやしよしひこ 栗林 芳彦	名古屋文理大学情報メディア学部 情報メディア学科教授・地域連携センター長	会長（班長）
むらかみひろみ 村上 浩美	愛知文教女子短期大学幼児教育学科准教授	
はぎはらあきひさ 萩原 聡央	名古屋経済大学法学部准教授	
いとうけんじ 伊藤 賢治	一般社団法人稲沢青年会議所元理事長	

② 平成27年 9月30日（水）評価員

氏名	組織等	備考
はっとりまさみ 服部 正見	稲沢商工会議所理事兼事務局長	副会長 (班長)
たけだまさこ 武田 勝子	稲沢市連合婦人会監事	

なかにしひろし 中西弘	公募	
さだゆきかおり 定行加保里	公募	

(4) その他

評価当日の限られた時間を有効に活用するため、各委員に対して評価資料（事務事業評価シート及び説明補足資料）を事前送付しました。

また、併せて「外部評価事前質問シート」を送付し、評価の進め方、事務事業の内容や配布資料等について、事前に確認しておきたい事項や評価当日に質問したい事項等を各委員から受け付け、事業担当課による説明や質疑に対する回答の中に反映させるよう努めました。

5 評価の視点等について

行政改革推進委員会は、評価資料（事務事業評価シート及び説明補足資料）や事業担当課による説明、質疑応答・議論等を踏まえ、各事務事業について次の視点で評価及び提言を行います。

- (1) 事務事業の妥当性、有効性、効率性について
- (2) 事務事業の目的設定と目的に対する成果の整合性について
- (3) 指標設定の仕方について
- (4) 内部評価（前年度の事務事業の事後評価）に対する事業担当課の考え方について
- (5) 事務事業の必要性等の観点からの分析による改善方法の提案及び今後の方向性に関する提言

【評価区分】

(総合評価)

「A」	計画どおり事業を進めることが適当である
「B」	事業の進め方などに改善が必要である
「C」	事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である
「D」	事業の廃止・休止の検討が必要である

(個別評価)

事業の妥当性	目標の実現に不可欠である/目標の実現に貢献している/目標の実現に繋がっていない
	市が主体的に実施すべきである/市と市民・民間事業者等とで協働すべきである /市民・民間事業者等が主体となるべきである
事業の有効性	社会環境に適合しており、成果が上がっている/どちらかといえば成果が上がっている /社会環境に適合しておらず、成果が上がっていない
事業の効率性	活動・手段は適している/活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある /活動・手段を見直す必要がある

Ⅲ 外部評価の結果

今回実施した6事業の評価結果は次のとおりです。

事務事業名		環境基本計画推進事業	
担当		経済環境部環境保全課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
B	4人	<p>事業の意義は十分理解できるが、手法の妥当性や評価の方法など、もっと多角的に検討しても良いのではないか。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	
		<p>さわやか隊の事業は市と市民の協働活動で、有意義であり成果も上がっているように思うが、補助事業の補助金額や市民への広報の仕方を継続的に見直していくと良いと思う。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	
		<p>他の事業と連携できる場合には、他事業との統合を視野に入れることを検討しても良いのではないかと思う。(例えば、行政区の清掃活動補助事業と本事業の統合など)</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している 〕</p>	
		<p>各々において検証ができる目標、実績がないと評価ができない。</p> <p>〔 妥当性：－ 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	

事務事業名		ごみ減量啓発事業	
担当		経済環境部資源対策課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		A	計画どおり事業を進めることが適当である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
A	2人	<p>様々な方法に積極的にチャレンジしており、高く評価できる。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している 〕</p>	
		<p>計画通り進められたらよいと考える。 啓発の内容についてはより「適切、妥当なもの、良いもの」という観点から検討すると効果が上がると思う。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している 〕</p>	
B	2人	<p>市民がごみを減量しようと今まで以上に強く思えるようなメッセージを考えて伝えてほしい。 その一つが「ごみ処理費用が減ることでその分を他に使うことができる」というメッセージが考えられる。 また、小中学生にも水切りの仕方などのごみ減量教育を行ってほしい。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	
		<p>「計画→実行→検証→改善」が正しく行われており、工夫されていると感じた。 さらなる工夫、改善をお願いしたい。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している 〕</p>	

事務事業名		観光協会支援事業	
担当		経済環境部商工観光課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		C	事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
C	4人	<p>市の観光事業における位置付けが不明確であり、現状のままの助成には問題があると思われる。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市が主体的に実施すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段を見直す必要がある 〕</p>	
		<p>支援事業として、補助金の交付だけではなく、観光協会の役割を明確化し、協会の組織強化を図るための計画を立てると良い。 また、市が観光行政の主導権を取っているならば、事業内容のアドバイザーとして計画も出すとよい。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段を見直す必要がある 〕</p>	
		<p>観光協会の機能不全を解消するため（組織強化を図るため）の取組みをしっかりと行うべきである 現在の補助金による手段ばかりではなく、他の手段もあり得ると思う。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段を見直す必要がある 〕</p>	
		<p>コメントなし</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に繋がっていない 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しておらず、成果が上がっていない 効率性：活動・手段を見直す必要がある 〕</p>	

事務事業名		ファミリーサポート事業	
担当		福祉保健部こども課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
A	1人	<p>これからの社会に必要なシステムである。 補助金のあり方に関しては、国の政策としてのフォーマットがあるようなので、今の時点で変更が難しいのであれば現行のままで良い。 他市との連携により効率性を高めている点が良い。 会員数が増えて問題が出てきた際は、さらに他市との連携を検討してほしい。</p> <p>妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している</p>	
B	3人	<p>子育て支援の重要な事業と考える。 提供会員を増やし、より利用しやすい環境を構築してほしい。 もう少し一般向けのPRをするとよい。</p> <p>妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：活動・手段は適している</p>	
		<p>核家族の多い現在では、子育てをしていく上でなくてはならない事業だと思う。 提供会員をもっと多くするために、過去に幼児教育を学び保育士の免許のある方で家庭に入っておられる方に、この事業へ参加いただける方向にもって行けたら良いと思う。</p> <p>妥当性：目標の実現に貢献している 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある</p> <p>少子化の時代にあって、相互援助により子育てを地域で支援することは有意義なことであり、十分に妥当性があると思う。 したがって、今後も事業を拡大すべきで提供会員の増加を図るべく方策をより検討してほしい。 また効率性の観点からも、事業のあり方を引き続き検討してほしい。</p> <p>妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：社会環境に適合しており、成果が上がっている 効率性：-</p>	

事務事業名		農業振興対策事業	
担当		経済環境部農務課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
B	4人	<p>耕作放棄地の解消のためにも、ぜひ推進してほしい。農業経営の安定化のため経営指導を行ったり、農地の集積による効率化を図ってほしい。 JAとの連携も重要と考える。</p> <p style="text-align: center;">(妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある)</p>	
		<p>子どもの時から収穫の楽しさに触れることも必要ではないか。そこから農業への必要性を感じることができるのではないか。 耕作放棄された土地を定年退職者で関心のある方などの生きがいづくりに提供していただいたいと思う。</p> <p style="text-align: center;">(妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある)</p>	
		<p>市街化調整区域が大半を占める稲沢市において、農業従事者の高齢化、後継者不足による担い手の減少、耕作放棄地の増加に対する対策は必要であり妥当性は認められる。 しかし有効な対策は難しいが地域の特性を生かした推進を図ってほしい。</p> <p style="text-align: center;">(妥当性：目標の実現に繋がっていない 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある)</p>	
		<p>農業の担い手を増やしていくのにこの事業が有効か疑問である。とはいえ、他に有効な策が思い浮かばないが、何もしなければもっと農業が行き詰まると思う。 市として、農業振興の位置付けを再考すべきではないか。</p> <p style="text-align: center;">(妥当性：－ － 有効性：－ 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある)</p>	

事務事業名		稲沢市国際友好協会補助事業	
担当		市長公室秘書広報課	
担当課評価 (内部評価)		B	事業の進め方などに改善が必要である
外部評価結果			
委員会評価		B	事業の進め方などに改善が必要である
評価内訳			
集計結果		委員コメント	
B	2人	<p>市内の外国人が日本で暮らしていくために必要な事業である。市と国際友好協会が協力して、多面的な支援に努めてほしい。 ボランティアによる活動に頼っている状態だが、若い人の加入を呼びかける必要がある。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に不可欠である 市と市民・民間事業者等とで協働すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	
		<p>姉妹友好都市もあり、今の時代は外国人との友好も必要であると思う。 もう少し交流の方法やPRの仕方に工夫が必要なのではないか。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市が主体的に実施すべきである 有効性：どちらかといえば成果が上がっている 効率性：活動・手段は概ね妥当だが、見直しの余地がある 〕</p>	
C	2人	<p>市財源が厳しい状況下において、当事業の妥当性・有効性には疑問が残る。 市民や民間業者など実施主体の移行を検討すべきである。</p> <p>〔 妥当性：目標の実現に貢献している 市民・民間事業者等が主体となるべきである 有効性：社会環境に適合しておらず、成果が上がっていない 効率性：活動・手段を見直す必要がある 〕</p>	
		<p>国際交流として、明確な理念を持った事業に特化して行うべきである。 市民派遣団事業は廃止で良いのではないかと。 草の根のグループを育てていく方法もあるといいと思う。市民が市民を巻き込んでいく形も検討してほしい。</p> <p>〔 妥当性：－ － 有効性：－ 効率性：－ 〕</p>	

IV 今後の展開

行政改革推進委員会による外部評価の結果及び各委員からの意見等については、事業担当課において今後の方針を検討し、新年度予算や各種計画へ反映させるよう努めるとともに、事務事業の遂行にあたって活用していきます。

なお、各事務事業への反映状況等については、事業担当課に調査の上、その結果を行政改革推進委員会に報告するとともに、市ホームページ等でも公表していきます。